



禁忌

を犯す。

囚われの少年は

Tsukumo GO  
presents

つくも号

落

白

群

いる

花

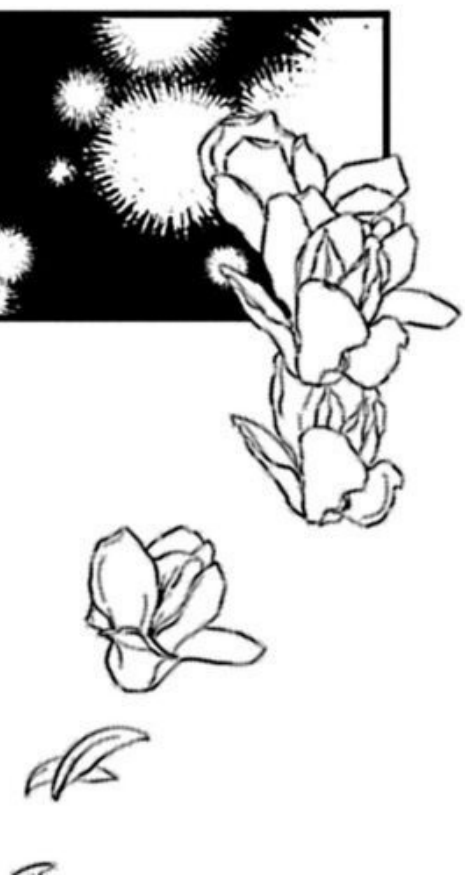
R-18  
成人向け



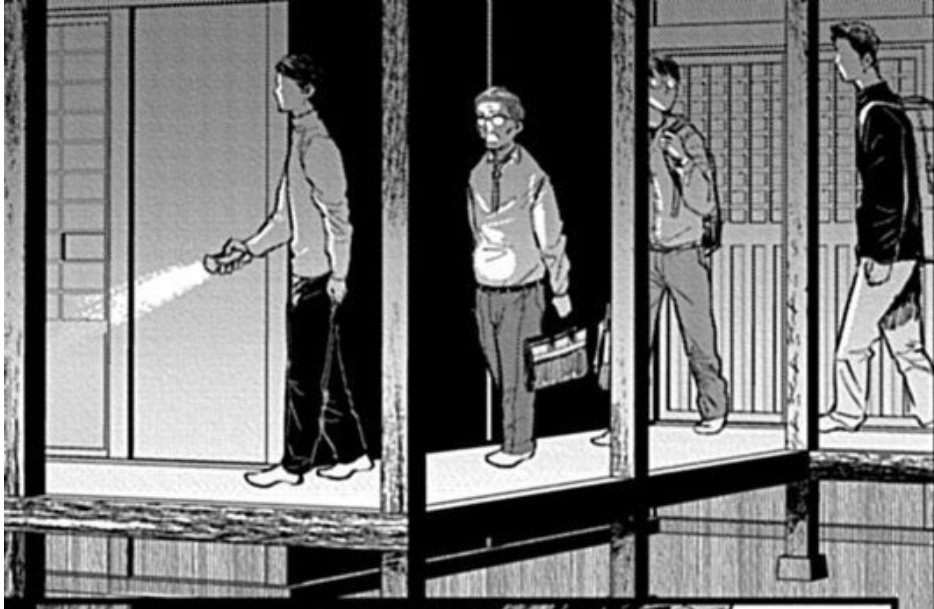
Adam [アダム]











なにぶん  
今日は夜も深い



建物も立派ですね  
年季ありそうだなあ

築は  
三百年ほど

江戸時代からと  
聞いております



古い家ですので  
不便も多いかと

早坂より皆さんの  
お世話をするよう  
言付かっております

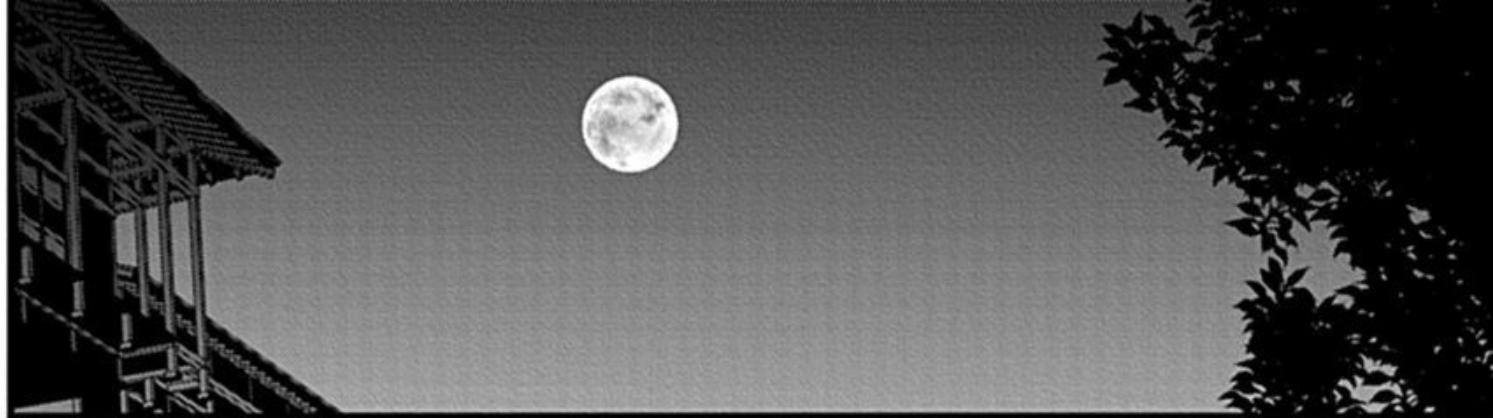
おのでも  
小野寺と申します



それでは

なにか  
ありましたら

おやすみになるのが  
いいでしょう









ほうじや

その婆様がの

三十年も  
経ととったのによ

姿形も変わらず  
帰ってきんさった  
そうでよ

なるほどなるほど  
興味深いお話  
ですね

そのお話を伺ったのは  
どなたからですか？

ワシが五つ六つ  
ぐらいのこと  
じゃが

あれはひい婆様から  
だったかの

それはまた  
随分と昔から  
あるお話ですね

話長くて  
ごめんなさい  
ねえ

おばあちゃん  
久々に昔話できるて  
張り切りよるんよ

いいえ

研究じゃなくても  
こういうお話伺うの  
僕大好きなんで

そういえば  
この辺りは  
白蛇信仰もあるって  
伺ったんですが

村上さん  
蛇の神様のお話とか  
聞いたことありますか？



アンタ方  
早坂の家に泊まっと  
りんさったかの…

ええ  
そうです

…あそこの家は  
好かんわ…

ちよつと  
おばあちゃん

欲の皮突つ張らかして  
蛇の神様娶ったに  
前の旦那さんになってから  
迷信だなんだ言うて



ごめんなさいねえ

年寄りには昔のこと  
大げさに言いよるけん

早坂さんのとこ  
昔村の利水りすいの顔役で  
羽振りがいい時期が  
ありんさったけん

良く思わん人等は  
口さがなく言うんだわ…

蛇のお嫁さんもらって  
家をおおきゆうしたやら  
悪いことして稼ぎんさったやら



タタリ？  
私もよう知らんけど子が丈夫に育たんとか  
女の人が短命だとか

あそこの奥さんも  
お産で亡うなりんさつとるしねえ

そりやまた  
典型的な  
異類婚姻譚だねえ



鶴女房なんかの  
アレですね

そうだね  
異形との婚姻譚は  
世界でも枚挙に暇がない

僕もさっきのお宅で  
同じような話を聞いたよ

こういう閉ざされた  
コミュニティだと族外婚が  
起源になつてるケースが  
あるかもねえ

あとは水源が豊富な  
この辺りだと  
蛇や龍との関係性だね

江戸中期辺りから  
神社の資料には早坂さんの  
名前が出てきてる  
その前後で利水に  
関わったんだらうね







結構けものみち獣道で険しいらしいから  
僕は遠慮しておくけど

確かに  
こりゃあ…



村の人から  
伺ったんだけど  
その山の中腹に温泉  
湧いてるらしいよ



また  
あの白い花…

それに



イオウの匂い…

あった



「地元の人もほとんど来ないらしいよ貸し切りだね」



とは言ってたけど一応...



水音...

...





花のじ

白い花のような…



あ



誰もいないと  
思ってたから…っ

いっいっいっ  
ごめんっ





君は村のこ?



なんだか大人びたこだな...

温泉 ここ良く来るの?



ここは人があんまりいないし

見た目がこんなだからあんまり人目につきたくないんです



特にお年寄り  
崇り子だつて  
嫌がつて…



古くて  
小さな村だから…



ずっと  
昔の話です



その  
崇りつて…?

山には  
白い蛇の姿をした  
神様がいて

ある家がその神様を  
嫁として娶ったそうです

そのおかげで  
家は栄えました

でも

だんだん時が経って  
人は神様のことを  
忘れてしまつて

神様を祀るのを  
疎かにしてしまいました

そのせいで  
神様は怒って

その家に  
神様の姿に似た子供が  
産まれるよう祟ったんです



…信じますか？

…興味深い話だけど…

それじゃ

このお湯…



白蛇の嫁と崇り…

僕みたいに



……

…病気…



君のそれは  
れっきとしたと言うと  
おかしいけれど

先天性色素欠乏症しきそけつぼうしょうという  
病気なんだ



君の髪や肌は  
崇りのせいなんかじゃないよ  
ましてや誰が悪いという  
ものでもない

こういう山村では  
異質に扱われる  
ことも多いのは  
事実だけど



高輪と  
言います  
匠者(うづま)さん

大学で民俗学を  
勉強してるんだ



おじさんは  
お医者さん？



いやー

そんな  
たいしたもの  
じゃ…



じゃあ先生だ



民俗学？

今みたいな言い伝えや  
古いお話を勉強する  
学問だよ



もし

しばらく  
村にいるのなら

またお話  
聞かせてもらって  
いいですか？



あああ

もちろん！



その外観の  
せいではなく

きっと  
彼があまりに綺麗に  
笑うからだ



胸が高鳴るのは

もし

行かないや

昼間はあまり  
出歩けないから

夜に

家の離れで

…あの

君の名前は？

透とほろです

早坂の家の

ああ

せいほう——

To be continued

# Adam [ アダム ]

## 群れ落ちる白い花 1【R18 版】

電子発行 2021年8月2日

著者

つくも号

© TsukumoGO 2021

レーベル

アダムコミックス

発行

ブレインハウス

本作品はフィクションであり、実在の人物・団体・地名とは一切関係ありません。  
本書の無断転載・複写・複製・上演・放送・アップロード・デジタル化を禁じます。

本書を代行業者等第三者に依頼しスキャンや電子化することは、  
たとえ個人でのご利用であっても著作権法上認められておりません。